

ピーナッツベビイ 穴川花園幼稚園（千葉県千葉市）

設定理由

生長がおもしろいピーナッツを育てながら、科学する心を捉え、ピーナッツベビイに負けないで自分たちも「心の優しい、友だちとなかよくコミュニケーションできる“ピーキッズ”」を目指す。

「ピーキッズの挑戦！～大きく育てピーナッツベビイ～」

- ①「ピーナッツベビイをそだててください！」というピーナッツ村からの手紙に、“お兄さん、お姉さん意識”を呼び起こされる！



ピーナッツ村のパパ、ママから
「かわいい赤ちゃんがたくさん生まれました」
というお手紙

＜保護者の援助＞

「園児の実践活動のために！」
と、落花生 2kg、堆肥 60kg、
害虫よけ微生物水 20など

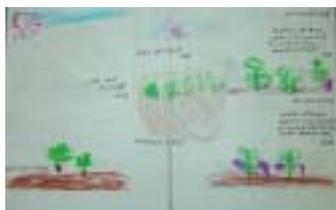
- ②ピーナッツベビイの発芽の力強さに驚き、「大切に育てなければ」と思い「自分たちも頑張らなくては・・・」と意識・パワーをもらう。

種まきから8日後、畑の地面に割れ目がたくさん見られた。その2日後、土を頭に載せ手を合わせたようなピーナッツベビイの間から、黄緑の本葉が一生懸命伸びてくる。

子どもたちは、その力強さにびっくり！「大切にしていあげよう！」と敬意を表す！

- ③ベビイ（落花生）がピーボーイに生長。草取り、水やりをしながら自分達も、恥ずかしくない“ピーキッズ”になる！と栽培や様々な活動に意欲的になる。

ピーボーイのお世話や記録にも意欲的。
同時に、友だちへのかかわりも優しく、
片付けも頑張るなど、様々な科学する心
の“ピーキッズ”に。



子どもが背の高さを測ってみたグラフ

- ④ピーボーイを育てていることで、何事にも惜しまぬ努力と挑戦を展開する。お泊り保育にもよるこんで参加。グループで力を合わせる課題活動に取り組み、コミュニケーションを育てた。



花の後、子房柄が伸びてくるのを観て、
面白さ、不思議さを感じながらも、一体と
なり、仲間として扱う。

「のびたのびた、地面を持ち上げてあげ
よう…届くように…」と盛り土をする！



今後の計画

- ⑤ピーボーイ（落花生）の収穫と加工をし、食べる体験活動から、ピーナッツに理解と親しみを抱きたい。これから、運動会、発表会、卒園製作など、活動をとおして、ピーキッズとして植物から、友から、学ぶことが、人生の宝物となる科学する心を刺激し、生きる力の基であるコミュニケーションを育てるであろうと期待したい！

みどころ

目の前の自然を見つめる現実的な面と、アニミズム的な発想をしながら理解しようとする面、そして、イメージを広げて知っていることと結びつける面など、幼児らしい多様な面から興味の対象を理解している様子が見えてきます。幼児はこうして、いろいろな面から刺激を受けて思考をめぐらし、考えたり意欲的にかかわったりして、「科学する心」が育まれていきます。幼児の心が揺り動かされるような指導や教材との出会いのアイデアなどの保育者の指導の工夫により、子どもたちが興味深く落花生を見つめて意欲的に活動することに結びついています。